

目次 Contents

3 特集 当初予算概要・主要事業

6 特集 深良用水通水350周年

8 トピックス

平成30年度 財務書類を公表／組織の硬直化や業務の属人化の解消／あなたの愛犬を狂犬病から守ります／東京2020オリンピック開催に向けて／富士山の麓で春の花を楽しむ／若年がん患者などを支援／ボランティアによる環境美化活動を支援／地域の活性化などに取り組む団体募集

17 インフォメーション



パラサイクリングの迫力を多くの人に

(一社) 日本パラサイクリング連盟広報担当
大西 涼太郎さん (44歳・元町)

司会業やラジオのパーソナリティをしている大西さんは、今年の1月に(一社)日本パラサイクリング連盟の広報担当の強化スタッフに就任しました。

パラサイクリングの選手たちは、片方の腕や足がないなど、障がいを抱えている箇所はまちまちですが、最大斜度が45度という斜路をものともせず、時速50kmを超える速さで疾走します。このスピードは健常者にも引けを取りません。

大西さんがパラサイクリングに出会ったのは5年前。伊豆ベロドロームで開催されたジャパンパラサイクリングカップ2015の司会を務めたことがきっかけでした。その大会で初めてレース会場を訪れた大西さんですが、これ程迫力のあるレースなのに、ふと観客席を見渡すと観客が少ないことに気付き、この競技への認知度の低さを感じました。そこで、自らパーソナリ



ティを務めるラジオ番組の中で、紹介コーナーを作り選手やレース結果などを毎週放送するなどして、競技のPRを続けています。

東京2020パラリンピックに向け、1月末には選手と共にカナダ開催のUCIパラサイクリングトラック世界選手権に強化スタッフとして行き、海外選手の情報収集をしてきました。

大西さんは「これからもパラサイクリングの魅力を発信し、来場者の増加はもちろん、競技者自体が増えて行くよう継続して支援していきます」と語ってくれました。



susonobito No.13

表紙 Front cover



約700本の梅が見頃

ヘルシーパーク裾野の北側に隣接する梅の里では、3月上旬に梅の花が見頃を迎えました。白やピンクの花を咲かせた約700本の梅の木は、訪れた人の目を楽しませていました。